

平成30年度 第4回三次市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

日 時：平成31年2月26日（火）13時30分～15時00分

場 所：三次市役所 本庁舎 601会議室

出席者：

[会長] 三次市 副市長 柴田 亮

[委員]

三次市地域振興部 瀧奥 恵	備北交通株式会社 名越 一馬 (代理)
有限会社君田交通 松尾 宏	三次みどりタクシー株式会社 石田 光雄
私鉄中国地方労働組合備北交通支部 長谷川 和宏 (代理)	布野町 中村 義和
三和町 福場 和子	三次商工会議所 竹本 勇夫
三次広域商工会 平岡 淳	三次市社会福祉協議会 大田 千代
中国運輸局広島運輸支局 重長 誠 (代理)	広島県地域政策局 東山 聖恵 (代理)
三次市建設部 坂本 高宏	三次県警三次警察署 信永 孝之
米子工業高等専門学校 加藤 博和	

[オブザーバー]

西日本旅客鉄道株式会社広島支社 渡邊 平和

2. 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 三次市民バス作木町線のフリー乗降化について
 - (2) 路線バス（備北交通）の運行計画変更について
 - (3) みよし市街地循環バス“くるるん”の停留所名変更について
 - (4) 広島空港連絡バスの運行継続について
 - (5) 三江線代替バス「川の駅三次線」のダイヤ改正について
 - (6) 三次市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況について
 - (7) 平成30年度事業実績及び決算（見込）について
- 4 協議事項
 - (1) 平成31年度事業計画及び予算（案）について
 - (2) 備北交通「春休み こども乗り放題パス」の発売について
- 5 その他
- 6 閉会

3. 議 事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

(会長)

本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。昨年7月に豪雨災害があり、三次市は勿論、広島県内全域で通常では無いことが起こった1年であった。お陰様で、芸備線は4月から一部区間で運行、秋には全線復旧という話をいただいている。そうした大量輸送機関もさることながら、三次市では地域公共交通をどうしていくか、ということは色々なご意見がある。関係者が一体となって市民・地域の皆さんに良い形で地域公共交通を作っていくことが大切である。本日もよろしく願いたい。

○連絡事項

<事務局より、資料の確認。会議の欠席者・代理出席者を報告し、次の事項を連絡>

- ・本会議は原則公開、傍聴席を設けていること。
- ・会議資料及び質疑応答などの会議録は、市のホームページ上で公開すること。

3. 報告事項

<事務局より、報告事項(1)「三次市民バス作木町線のフリー乗降化について」を説明>

<事務局より、報告事項(2)「路線バス(備北交通)の運行計画変更について」を説明>

<事務局より、報告事項(3)「みよし市街地循環バス“くるるん”の停留所名変更について」を説明>

<事務局より、報告事項(4)「広島空港連絡バスの運行継続について」を説明>

<事務局より、報告事項(5)「三江線代替バス「川の駅三次線」のダイヤ改正について」を説明>

(加藤委員)

(1)の作木町線のフリー乗降化については全路線ということでよいか。また、住民の方への周知はどうなっているのか教えてほしい。

(2)の②について。いつから実施されるのか確認させてほしい。4月1日からということよいか。ダイヤの提示がないが、対象はどの程度の便数か。また、横路橋は乗り換えでの待合に上屋などのフォローはされるのか。運賃についても乗り継いだ場合に通し運賃になるのか、別々になるのか。

また、庄原市の口和地域でデマンドタクシーを運行されているので、例えばモーモー物産館から下宮内の間などは定時定路線で運行というよりも、そちらのデマンドタクシーにまかせしても良いかと思う。備北交通の車両運用上も一本化された方が良くとも思う。利用実態も多くはないと思われるので庄原市の資源が活用できたら良いのではないか。

(4)について。三次工業団地と三次中央病院については当初目的としていた出張や医療関係者などの利用者があまりいない状況かと思う。例えば全便でなく一部の便だけでも、もののけミュージアムを

発着点にしても良いのではないかと。観光的なインパクトもある。報告事項の内容は確定したものでありよいと思うが、もののけミュージアムがオープンし、停留所名も変更するという事でこういった路線も繋いで観光利用や、旧三次町などの利用を促すという手もあるかと思う。

(事務局)

作木町のフリー乗降についての対象は全線である。市道などの狭い箇所はカーブ等、安全を十分に考慮した上で停車していただけるよう運行事業者にはお話しさせていただいている。

周知方法について、作木町内の交通検討会での周知、及び3月10日頃に支所管内に配布する支所だよりと合わせて、新しい時刻表、フリー乗降のお知らせを配布する。川の駅三次線のダイヤも変更するのでこの時刻表も配布するよう準備をしている。

路線バスの運行計画変更の実施日については、平成31年の4月1日からである。

君田方面からの路線バスの再編の便数等について、全便ではなく、主に朝の併走を解消するという事である。昼間についても便が重なるところは乗り換えをしていただくようにしている。

待機場所について。モーモー物産館については建屋があるが、横路橋は待合所が無い。ただし、横路橋は乗り換えの時間を10分以内で設定しており、またバスを2台並べることができるので、乗り換えのお客様がいらっしゃれば、先に着いたバスがそこで待ち、次のバスが来てから乗り換えをしていただくということで備北交通さんから報告を受けている。

モーモータクシー（口和町内デマンドタクシー）との連携については、庄原市との連携が必要になるが、今の所連携は考えていない。路線全体を見たときの再編ということであれば、何か協力できる所があれば今後検討して参りたい。

(名越委員代理)

乗り継ぎ運賃については、パスピーご利用の場合に限り、これまでと同じ運賃となるよう差額だけを収受する。現金でご利用のお客様に関しては2回お支払いいただくことになるが、弊社ではほとんどのお客様にパスピーをご利用いただいている。しっかりと周知もさせていただき、もし現金で2回お支払いのお客様がいらっしゃればこちらからも勧めていきたいと考えており、多くが従来通りの負担でご利用いただけるかと思う。

(事務局)

先ほどのモーモー物産館での乗り継ぎについて、モーモータクシーと連携する場合、モーモー物産館での乗り換えが朝のかなり早い時間と、夕方の遅い時間の設定になっている。日中は、バスが連続運転をしている。こうした時間の都合とモーモータクシーの利用目的が地域内で違うということもあり、今回は連携をしていない。

空港バスのものけミュージアムの発着について。ものけミュージアムは色々な方面の方に注目されており、目的地になる可能性もあるかと思うが、4月1日からは現状のルートで行う。また、三次駅も通るのでこちらから路線バス、もしくはタクシーをご利用いただくという考えでさせていただければと思う。

(平岡委員)

先ほどあったように三次中学校前のバス停の名前を変えられるのと合わせて、南側に行くときは停留所の位置は具体的には敷地の中に入るのか。また、広島バスセンター発三次小学校行きという高速バスがあるが、これは三次もののけミュージアム行きにならないのか。

(事務局)

君田方面へ向かうバス全便が、もののけミュージアムに乗り入れをする。中に入ることになるので時分の変更が発生する。だいたい2分くらい延長するという事で備北交通さんに全体の時刻の調整をしていただいている。

また、高速バスの乗り入れについて、備北交通、広島電鉄バスとで協議をしていただいております。三次小学校行きの便については、三次もののけミュージアムまで延伸をするということで進めていただいている。具体の便数、時刻については調整中である。

(中村委員)

三次市民バス作木町線のフリー乗降について。認可が下りれば布野線、君田線等も必要に応じて変更は可能ということによいか。

(事務局)

北部域でいうと君田町線は既に全域でフリー乗降化を実施している。布野町線については、国道54号上を走る区間が長いですが、ここは交通量が多い。かつ備北交通さんの路線バスもこの区間はフリー乗降化をされておらず、市民バスも同じように適用されると把握している。もしも地域の要望があるならば、交通検討会等で検討していただいで、市道や県道など可能な所からフリー乗降にする、ということとは可能と考える。

<事務局より、報告事項(6)「三次市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況について」を説明>

<事務局より、報告事項(7)「平成30年度事業実績及び決算(見込)について」を説明>

(東山委員代理)

計画事業3で、網形成計画の中では、この計画事業の中で「持続可能な移動手段になるよう路線の見直しやダイヤの見直しをはじめとした運行方法を幅広く見直します」とあるが、今回の報告ではバスの一部路線の新設や停留所の新設だけであった。何か他に路線の見直し等、具体的な見直しの方向性等があれば教えていただきたい。先ほど三和の方から提言書の中でデマンドが良いのではないかと、というような地域のご意見があったように、何か方向性があれば教えてほしい。

計画事業の6について。この報告書の中で無かったが、これは具体的な取り組みが無いので記載が無かった、と理解して良いのか。

(事務局)

計画事業の全体の見直しの方向性について、ご指摘通りデマンド化に向けて三和町から提言書の提出

をいただいて検討を始めている。その他については、「持続可能な」という点でいうと備北交通さんとの路線の重複の改善，また利用しやすい路線への転換。三次では色々な系統の路線バスが重複して運行しており，これが同時に全て無くなるということは避けなければならない。なるべく効率化を図り，持続可能な交通体系を作っていくということで再編を行った，とご理解いただきたい。その他の地区についても計画の中には市民バスのデマンド型への転換等の記載もあるので，地域の交通検討会等で皆さんと協議をしていきながら，それぞれの地域に応じた交通体系を検討していく必要があると考えている。

2点目の乗り継ぎ環境の改善について，今年度は実績が無く掲載していないが，バスの待合施設に関しては三江線代替バスの停留所や，塩町中学校の待合所等，待合環境の整備は継続実施している。

あわせて，吉舎町から長年要望をいただいていた，備後安田駅の駐輪場を先般，JRに作っていただいたということも報告させていただく。

4. 協議事項

<事務局より，協議事項(1)「平成31年度事業計画及び予算(案)について」を説明>

(会長)

質問等が無いようであれば，協議事項(1)について承認いただいたということによろしいか。

(一同)

(承認)

<事務局より，協議事項(2)「備北交通「春休み こども乗り放題パス」の発売について」を説明>

(加藤委員)

今回は，三次市は教育委員会を通じて何かPRはされるのか。また，夏休みと比較すると有効期間が短く，お得感が少ない感じもする。春休みということで3月26日から4月7日となっているが，もう少し長めに設定できないのか。また，アンケートをとるということで，前回ご意見申し上げたことを盛り込んでいただければありがたい。

(名越委員)

夏休みの企画が好評であったので，春休みも実施することとなった。目的としては小中学生を対象に，未来のユーザーを育てるためということで，子どものうちからご利用いただき，バスを利用する大人になってほしい，ということである。今回は広島空港連絡バスも含めており，時間的には厳しいところもあるかと思うが，空港にも行っていただけるようにしっかりPRしたい。

(事務局)

前回は，三次市から教育委員会を通じて配布ができなかった。前回の第3回会議の中で，この交通会議としても利用促進策の1つとして，バスの支援をしていくということであったため，必要であればチ

ラシ等にも公共交通会議の名前を添えて広報していく。三次市としても配布する。

(会長)

今回は備北交通さんだけの取り組みというよりも、広い目で小学生、中学生の皆さんにバスに親しんでいただくということで、この三次地域公共交通会議としてもチラシ等に名前を載せて、動きを応援していこうということである。ご理解いただけるようであればそういった方向で、この公共交通会議としてもしっかりと取り組んでいきたい。皆さんからご意見等がなければこの方向で進めさせていただく。

特に他にご意見がないようであれば協議事項(2)について承認いただいたということによろしいか。

(一同)

(承認)

(会長)

本日はJR西日本より渡邊さんにもお越しいただいている。芸備線の今後についてご紹介をお願いする。

(渡邊委員)

先日の20日に、4月4日から三次～中三田間を朝・夕数往復ずつ運転することになったことを外向きに発信した。3月の下旬を目処にダイヤの確定を検討している。確定次第、皆様にご案内する。

また、今年の秋頃に全線開通の見込みを発表しているが、まだ詳細が確定したわけではない。確定次第、関係方面にご案内を差し上げたい。今暫くお時間をいただきたい。

三次駅の構内に3月1日にエレベーターの供用が開始できるよう、設置が完了した。また、4月4日からの暫定運転についてもご利用いただける形になろうかと思う。

三次市の関係では福塩線が今年の7月28日で全線開通80周年であった。上下の駅でイベントを開催する予定であったが、平成30年豪雨災害で延期となった。それが3月3日に上下のひな祭りに合わせて、開催予定である。80周年の臨時列車も三次から府中までの1往復運行する。上下の町を散策する機会にさせていただければと思う。

(会長)

色々な形でご尽力いただいているところをご紹介いただいた。引き続きよろしくお願ひしたい。

昨年は7月豪雨等、色々な事があったが、来年度に向けては、4月にはもののけミュージアムがオープンし、中高一貫の三次中学校・高校も開校する。三次市も新しい動きがある年だと思っている。そうした中、地域の中だけではなく、外からもお客さんに来ていただく。バス、タクシー、JRも含めて少しでも利用者が増えればと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。

6. 閉 会